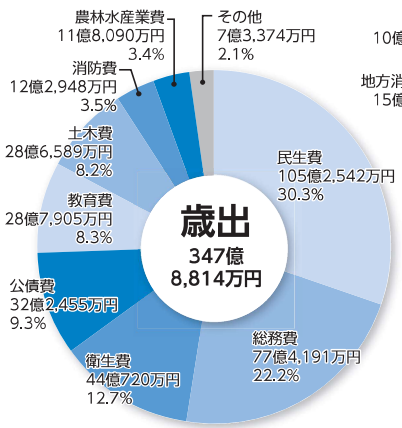
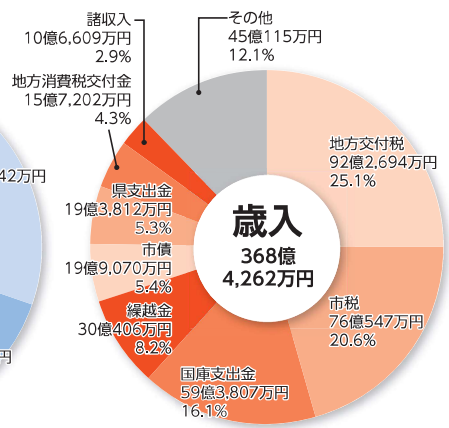
こうなっています

旭市の財政状況

皆さんが納めた税金や、国・県からのお金はどのように使われているのか、市税の負担や市の財産、市が借りているお金はどのくらいなのかなど、市の財政事情を皆さんに知ってもらうため、決算と予算執行状況を公表します。

令和３年度一般会計決算



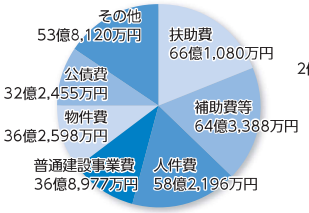


市民１人当たりに使われたお金
54万6千円
（前年度比 ▲21.6%）

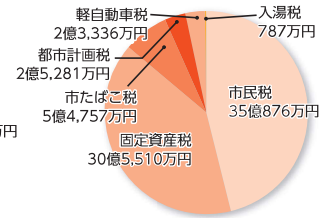
市民１人当たりが負担した市税
11万9千円
（前年度比 ▲1.7%）

人口 63,728人
（前年比 ▲656人）
（令和４年３月31日現在）

性質別歳出の内訳



市税の内訳



歳出用語の解説

- **民生費**…児童、高齢者、障害者などの社会福祉にかかる経費
- **総務費**…庁舎管理や税金徴収、住民票などの発行にかかる経費
- **衛生費**…健康増進、疾病予防、ごみ処理、環境保全、旭中央病院への負担金などにかかる経費
- **公債費**…事業を行うために借り入れたお金の返済にかかる経費
- **教育費**…学校教育、生涯学習、スポーツ振興などの教育行政にかかる経費
- **土木費**…道路や公園などの整備や維持管理にかかる経費
- **消防費**…消防や防災にかかる経費
- **農林水産業費**…農業や水産業の振興にかかる経費
- **その他**…議会の運営、商工・観光や就労支援などにかかる経費

一般会計決算

令和３年度一般会計の決算は、歳入368億4、262万円、歳出347億8、814万円で、歳入歳出差引額20億5、448万円から翌年度に繰り越すべき財源４億1、814万円を控除した実質収支額は、16億3、634万円となりました。

歳入の構成比は、地方交付税が25・1％（92億2、694万円）で最も高く、次いで市税が20・6％（76億547万円）となっています。

歳出の構成比は、民生費が30・3％（105億2、542万円）で最も高く、次いで総務費22・2％（77億4、191万円）、衛生費12・7％（44億720万円）となっています。

問い合わせ先
財政課財政班
☎62-5316

市の決算を家計に置き換えてみると

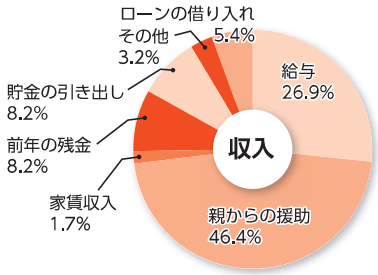
一般会計決算額を年収564万円※の家計に置き換えてみました。
※令和３年国民生活基礎調査の１世帯当たりの平均所得金額で算出。

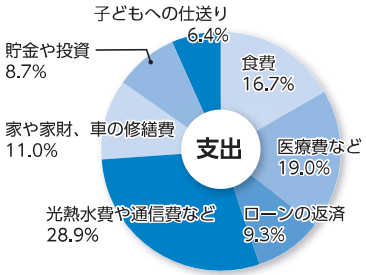
収入

		（前年度比）
給与（市税、地方譲与税、交付金）	152万円	（36万円）
親からの援助（地方交付税、国・県支出金）	262万円	（▲47万円）
家賃収入（分担金・負担金、使用料・手数料、財産収入など）	10万円	（2万円）
前年の残金（繰越金）	46万円	（16万円）
貯金の引き出し（繰入金）	46万円	（21万円）
その他（寄附金、諸収入）	18万円	（5万円）
ローンの借り入れ（市債）	30万円	（▲33万円）
合　計	564万円	

支出

		（前年度比）
食費（人件費）※1	89万円	（21万円）
医療費など（扶助費）※2	101万円	（40万円）
ローンの返済（公債費）※3	49万円	（13万円）
光熱水費や通信費など（物件費、補助費等）※4、※5	154万円	（▲93万円）
家や家財、車の修繕費（維持補修費、普通建設事業費）※6	59万円	（▲26万円）
貯金や投資（積立金、投資及び出資金など）	46万円	（37万円）
子どもへの仕送り（繰出金）※7	34万円	（8万円）
合　計	532万円	





※1 人件費…市職員の給与や手当などを支払うための経費
※2 扶助費…医療に関する経費や、生活保護・児童手当の給付、私立保育園の運営補助などにかかる経費
※3 公債費…国や金融機関から借りたお金の返済にかかる経費
※4 物件費…電気料金や消耗品の購入費、委託料など
※5 補助費等…各種団体に対する補助にかかる経費
※6 維持補修費、普通建設事業費…道路や公園、学校など公共施設の建設や改修などにかかる経費
※7 繰出金…特別会計の歳入を補うための経費